

～絆をつなぐ、未来へつなぐ～

No.16

2024年
5月1日発行

愛知医科大学看護学部

同窓会会報



● ● ● 会長挨拶

看護学部同窓会
会長 藤澤 恵児（第9期生）



愛知医科大学看護学部同窓会会員の方々、及び関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃から、愛知医科大学看護学部同窓会活動にご理解とご協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。

昨年度の国内情勢として、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと移行し、我々への生活にも大きく影響を与えるようになりました。社会活動においても、徐々に変化がみられてきており、遠隔授業が主流であった状況から対面授業へと戻り、簡略化されて行われていた卒業式などの式典も従来通りの形式へと戻りました。一方で、病院や施設では感染対策を欠かすことはできず、感染患者の増加も見られています。そのような中で医療活動に従事されています会員の皆さまに心からの敬意を表します。

看護学部同窓会では、昨年度同窓会ホームページにおいて、新たに「同窓生インタビュー」というコーナーを設けました。愛知医科大学看護学部を卒業して、全国で活躍されている会員の皆さまのお話や体験を知ること、今後、看護学部への入学を考えている高校生の皆さまや、就職活動中の在学生の方々、卒業後の自身のキャリアを進む上でも有益な情報になるのではないかと期待しております。また、昨年度から看護学部卒業生だけでなく、新たに看護学研究科修士課程を修了された方も正会員とさせていただきました。多くの卒業生の方々が、全国で活躍されていますので、同学年の横の関係性だけでなく、同窓会を通して学年を超えた縦の関係性もぜひ持っていただき、自身の視野を広げていただけたら幸いです。

今年度も引き続き、インターネットを用いた同窓会の広報活動や情報提供をできる場を充実させ、どこでも会員の皆さまに同窓会のことを知っていただけるような環境を整えていきたいと思っております。また、今年度もミニレクチャーの開催を始めとし、新卒の会員の皆さまを対象にしたホームカミングデーの開催など同窓会としての企画実施を計画しております。定期総会（年に1回）では、同窓会としての1年の活動報告や今後の活動についての意見交換を行っております。Zoomと会場でのハイブリッドの開催で遠方の方もご参加いただけますので、是非ご参加いただき会員の皆さまのご意見を伺えましたら幸いです。

看護学部同窓会が、卒業生からも在校生からもより身近な存在と感じてもらえるように役員一同取り組んで参りたいと思っておりますので、本年も皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度
卒業生
(第21期生)

ご卒業おめでとうございます。新しい門出をばよりお祝い申し上げます。

令和5年度 卒業生代表挨拶

令和6年3月2日、私たち第21期生は、無事に卒業の日を迎えることができました。皆さまのご協力のもと、4年間の大学生活を締めくくることができ、大変嬉しく思います。また、この度は看護学部同窓会から私たち卒業生へ記念品をお贈りいただき、心より感謝申し上げます。卒業生一同、この贈り物を大切に、母校の思い出を永く心にとどめていきます。

入学当初、私たちは新型コロナウイルスの影響により、大きな不安を抱えていました。講義は初めから遠隔授業という形で始まり、先生方や友人とは会うことができない状況が続きました。そのような状況の中でも先生方は学修が滞らないよう様々な工夫を加えながら、充実した学びの環境を提供していただきました。コロナウイルスが落ち着いた頃には、対面授業が始まり、臨地実習も一部制限はありましたが、学修には支障なく行うことができました。学生同士で励まし合い、支え合いながら、看護職者としての知識や技術、心構えを身につけることができました。出会った先生方や仲間と共に過ごした大学生活は、私たちにとって宝物です。このような貴重な経験や出会いができたことを誇りに思います。

卒業後は、それぞれが個々の道を歩み始めますが、大学で培った知識や経験を活かし、社会に貢献できるよう、今後も一層精進し、成長できるよう努めてまいります。

最後になりましたが、これまで私たちを導いてくださった先生方、支えてくださった職員の皆さま、そして家族や友人、応援してくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。そして、愛知医科大学看護学部のさらなる発展を願い、ご挨拶とさせていただきます。

第21期生 浅野紗衣、足立詩織、池野真帆、柴野瑞菜、武山響希、溝口薫子

(学部長講演会開催報告) R5.3.23開催

りぼんの会レポート

Covid-19の影響で休会しておりましたが、令和5年9月9日(土)午後1時から14時30分まで、看護学部棟において、11回目の「りぼんの会(保健師として就業する卒業生の会)」を開催しました。

参加者は、卒業生21名、教員3名の計24名でした。お茶とお菓子を交えて、様々な年代の卒業生同士がグループで交流を行いました。久しぶりの対面での集まりであったことから、なごやかな雰囲気の中、どのグループも活発に情報交換を楽しんでおりました。令和6年4月から保健師として就業する卒業生も参加しておりましたので、実際の保健師活動の様子をお聞きできる貴重な機会となっていました。様々な場で働く保健師が「つながる場」となっております。

看護学部同窓会からの支援に、心から感謝いたします。

愛知医科大学看護学部公衆衛生看護学 若杉 里実



看護学部長特別講演会を開催しました

令和6年3月23日(土)午後1時30分から、看護学部長の坂本真理子先生をお招きし、「同窓生へのメッセージ:看護を考え続けることの意味」をテーマとして、対面とオンラインのハイブリッドによる講演会を開催しました。

坂本先生の国内外におけるCommunity Nurseとしての活動や看護基礎教育の理想と現実、コロナ禍の体験から、悩んだときは物事の見方や捉え方を変えてみることで、「看護とは何か」「看護にできることは何か」を日頃から考え発信すること、「旅」をしながら自身のメンタルヘルスに目を向け、時には自身の成長のためにチャレンジすることの大切さに気づかされました。

当日は、看護学部卒業生1期生から21期生という幅広い世代の同窓生を始め、看護学研究科修了生、看護学部との関係が深い看護職及び学内の教職員のみなさまが集う機会となりました。



募集領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	基礎看護学	修士論文
	看護管理学	
母子看護学	母性看護学	
	小児看護学	
成人・老年看護学	慢性看護学	
	精神看護学	
精神・在宅・地域看護学	在宅看護学	
	地域看護学	
	感染看護学	
高度実践看護学	臨床実践看護学	
		高度実践看護師(専門看護師[CNS])(※1)
		高度実践看護師(診療看護師[NP])(※2)

※1高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース修了後は、公益社団法人日本看護協会の認定審査を受けられます。
 ※2高度実践看護師(診療看護師[NP])コース修了後は、特定行為研修修了者として厚生労働省に報告します。
 また、一般社団法人日本NP教育大学院協議会が実施する「NP資格認定試験(プライマリケア・クリティカル領域)」の受験資格が得られます。

日程

	日 程
出願資格認定申請期間	令和6年7月1日(月)～令和6年7月16日(火)
出願資格認定結果通知	令和6年8月1日(木)
出 願 期 間	令和6年8月5日(月)～令和6年8月19日(月)
試 験 期 日	令和6年9月4日(水)
合 格 者 発 表	令和6年9月12日(木)
入 学 手 続 期 間	令和6年9月13日(金)～令和6年9月20日(金)

募集人員

15名

選抜
方法

専門領域学力試験、小論文、面接、出願書類を総合して判定します。

出願
資格

- 大学を卒業した方及び卒業見込みの方
- 短期大学、看護専門学校(3年課程)卒業の方も、出願資格認定審査を受けることにより、大学院を受験することができます。

令和7年度愛知医科大学大学院 看護学研究科修士課程 学生募集案内

入試説明会(対面又はWeb参加可能のハイブリッド形式)

第1回

令和6年 6月1日(土)

10:00～11:45

第2回

令和6年 6月27日(木)

18:30～20:15

内
容

大学院の概要、入試説明、科目等履修生説明、在学生・修了生のお話、その他個別相談に応じます。お気軽にご参加ください。

社会人の方が在職したまま就学できるよう「長期履修制度」の導入や、夜間その他特定の時間や時期において授業や研究指導を行っています。(ただし、高度実践看護師(診療看護師[NP])コースを除く。)

[入試説明特設ページはこちら▶](#)

学生募集要項 無料配布中です



2025年4月

博士後期課程を開設

設置計画は現在認可申請中

- 設置計画は予定であり、内容に変更があり得ます。
- 詳細については、設置認可後に、本学ホームページ等でお知らせいたします。

「同窓生インタビュー」

ホームページにて
「同窓生インタビュー」
記事を公開しています
ので、ぜひご覧ください！



<https://amukandou.jp/>

会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。
今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、皆様のご協力が
必要となりますので、会費(終身10,000円)未納の方は至急振込をお願いいたします。

※1 ATMからの振込にあたっては、振込人氏名欄に入力
する氏名の前に、必ず「学籍番号」を入力してください。
(例) ATM振込人氏名欄 123456アイチハナコ

※2 なお、学籍番号が不明な方は同窓会事務局までご連絡
ください。

会費振込先

口座名	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金
口座名義	愛知医科大学看護学部同窓会
口座番号	0004390

令和6年度 事業計画

- 1 看護学部同窓会報16号の発行
- 2 令和6年度卒業生への卒業記念品贈呈
- 3 令和6年度卒業生への看護学部
同窓会長賞記念贈呈
- 4 卒業生への補助
- 5 クラス会等への補助
- 6 保健師の会への補助
- 7 ミニレクチャー等の交流企画
- 8 看護学部との連携
- 9 看護学部同窓会広報活動
- 10 ホームカミングデーの開催



令和6年度 看護学部同窓会定期総会開催について

令和6年度看護学部同窓会定期総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。なお、参加にあたっては、対面又は遠隔(Zoom)どちらでも可能です。

つきましては、恐れ入りますが、下記に記載のURLまたはQRコードから、専用の回答フォームにご接続いただき、6月10日(月)までに出席等につきまして、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

開催日時

令和6年 6月15日(土) 10:00～

開催方法

対面及び遠隔のハイブリッド開催

回答期限

令和6年 6月10日(月)まで

出欠確認は
以下のフォームに入力をお願いいたします

【URL】

<https://amukandou.jp/news/1147/>



※ ご入力いただいたメールアドレス宛に、ZoomミーティングのID・PW等を送信いたします。

同窓生だより



私が愛知医科大学大学院修士課程を修了してから2年になります。臨床では、がん専門病院、総合病院で勤務しておりました。子育ても落ち着き、臨床での後輩指導をしていく中で、看護教育に関心をもち大学院に進学いたしました。

大学院では、夜間の講義や論文作成などで仕事や家庭との両立が難しく挫折しそうな時もありましたが、先生方や同期の仲間に支えられ無事に修了することができました。

私は、大学院修了後は他大学看護学部で1年間勤務し、令和5年4月から愛知医科大学看護学部成人看護学領域の助教として入職しました。現在は、講義や演習、実習指導を担当しております。教育に難しさや戸惑いを感じることもありますが、充実した日々を送っております。

これからも学生と向き合い、教育の本質、これからの看護にとって必要な教育を探究しながら邁進していきたいと思っております。

看護学研究科 2022年3月修了 中村 純江

Editor's Note 16

編集後記

看護学部同窓会 副会長 戸谷 信雄 (第5期生)



愛知医科大学看護学部同窓会会員の方々、及び関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。2022年度から副会長の任をいただいております5期生の戸谷です。昨年度に続き本年度も皆さまにご挨拶させていただきます。

さて、2022年度に愛知医科大学50周年記念事業を終え、看護学部も大学院博士課程の創設など新たな50年へと向かっております。また、長くコロナ禍も続いておりましたが、4月から厚生労働省も、病床確保によらない通常の医療提供体制に移行するとしているように、皆さま方におきまして通常の生活に戻ってきているかと思えます。そこで看護学部同窓会も役割にある「同窓生相互の交流と親睦をより一層深める」という役割を果たすべく、講演会やミニレクチャーの開催なども対面式+Zoomで開催していけるよう計画をしております。開催の折には、多くの同窓生の皆さまの参加をお待ちしております。そして、同窓会のホームページもリニューアルされており、そこでは同窓会の活動状況だけでなく、同窓生の方々のご活躍も見ることができます。私自身も見ることでよい刺激をいただいております。皆さまにもぜひご覧いただきたいと思っております。

最後に、引き続き、会報、ホームページにおいては同窓会の近況報告や情報提供の場としてもご利用いただき、看護学部同窓会の運営にどうぞお力添えをよろしくお願いいたします。